

## 自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 那加第3自治会連合会
2. 日 時 平成29年7月20日（木） 19時00分～21時00分
3. 場 所 那加南福祉センター
4. 出 席 者 自治会長 26名、 市長、 企画総務部長

### <内容>

○連合会長のあいさつ

○市長のあいさつ

○行政の説明

・ひと・くらし・まち とともに「育む」各務原

○テーマ概要

テーマ①：学園通り地域の充実化

テーマ②：新境川護岸の雑草と市民清掃

テーマ③：福祉センターでの飲食の許可

テーマ④：市民公園の外周と公園内遊歩道の安全性

○提言による懇談

テーマ①：学園通り地域の充実化

<前洞新町第5自治会長>

那加三校区は、学園通りと言われる区域があり、那加中央保育所から那加第三小学校、各務原西高校、那加中学校が集まっています。

保育所の送り迎えや、学校への登校の時には、親御さんや児童生徒でにぎやかな風景が見られます。様々な年代世代の子どもたちが同じ地区で共に学んでいることから、子育てに非常に良い環境だと思えます。

そこで、このような子育て教育施設が1カ所にある地域ですので、その特色を活かした特にソフト面で保育所や小中学校が連携した教育によるまちづくりの策があれば、那加三小地区がもっと注目され、人も集まり住む人が増えるのではと思います。

私事ではありますが、小学校から中学校へ進級する時に期待と不安が交錯していましたが、小学校・中学校・高校へ繋がり、また交流でもあれば不安なく進級できると思います。

そこで新境川を挟んで中部学院大学、さらに市民公園・図書館があります。この辺りは各務原の文教地区といった雰囲気を持っています。地区の者としなくても、このような良い文化的に生まれた地区で住んでいることもあり、もっと特色を活かした教育ができればと思います。

<市長>

こちらについては、私どもの若干、PR不足な点があろうかと思えます。まだまだ拡充をしていく部分もあろうかと思えますが、既に実施している内容も非常に多くあります。

まさに、こちらですと、那加中央保育所、那加三小、各務原西高校、那加中学校、そして中部

学院大学があるということで、学園通りとして、これだけ集積している地域は、この那加第三校区だけではないかと思っっているところでありまして、特色のある教育活動が行える地区であることから本当に望ましい地域であろうと思っっています。

幼保・小・中・高・大と関わるることができる活動への参加を促進していくというのは非常に重要な役割であると思っっています。学校の授業だけでなく、様々な分野での体験を通じて学びの機会を創出して行く、そして、学びだけではなく、色々なものに対して発達を促して行きたいと思っっています。

そこで、ご紹介させていただきますと、幼保・小の連携としては、那加第三小学校では、生活科の授業で、児童と入学を控えた那加中央保育所の年長さんによる交流が行われています。また、教師間では、公開授業や公開保育を行い、那加第三小学校の教師と那加中央保育所の保育士が、お互いに普段の子どもたちの様子を知り、情報交流の機会を設けています。さらに、那加中央保育所の園児たちは、毎日、那加第三小学校の飼育小屋に散歩に行き、そこで小動物に触れ合うことを目的にしています。

そして、小・中の連携ですと、那加中学校 2 年生の生徒が、進路指導の一貫で行われるキャリア教育において、近く的那加中央保育所や那加第三小学校で職場体験を行っています。そして、生徒会活動では、挨拶レンジャーと称し、生徒が朝、那加第一小学校や那加第三小学校に赴き、校門などで小学生に挨拶活動を行っています。夏休みには、那加中の生徒会と那加一小、那加三小の児童会役員の子どもたちによる交流会を開催し、自分たちの学校紹介の発表を行っています。さらに、那加第三小学校 6 年生の児童は、卒業が近くなると、那加中学校に一日入学を行い、中学校の授業の雰囲気を感じ、不安を払拭するような形で入学への準備を行っています。

そして、中・高の連携ですが、那加中学校と各務原西高校は、吹奏楽が盛んな学校ですので、お互いの学校で合同練習を行っています。また、各務原西高校での研修会に那加中学校の教員も参加するなど、先生同士の交流も行われています。さらに、今後は那加中学校にて、各務原西高校の教員による授業も計画しているようです。

そして、保育所と高校の連携ですが、毎年、中央保育所の園児たちは、各務原西高校の体育祭に招待され、高校生のお兄さんやお姉さんたちの一生懸命頑張っている姿を応援しています。

そして、大学との連携ですが、中部学院大学・人間福祉学科の学生が、車いすテニス選手との交流を実施したり、「魅力ある地域」という題名でワークショップを開催しています。

中部学院大学では、7 月 9 日にキャンパスと学びの森で「みんなの森の学校」事業を行っており、各務原高校・理数科や英語科の生徒にもボランティアで参加いただきました。また、子ども教育学科による「親子で楽しむ小学生英語」の開催など、小学生とも交流を行っています。

このように、幼保・小、そして小・中、中・高、高・大と学校間において様々な繋がりを持った活動展開ができるような地域の特性を PR することによって、こういった教育環境があるんだなと認識していただきますと、まさに冒頭申し上げました、移住の地として望ましい地域であるということを知っていただけるかと思っしますので、今後については啓発していきたいと思っっています。

今後についてですが、6 月定例会において、市教育委員会の方から中学校区におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置していきたいとの考えを示させていただきました。

この地域でいきますと、那加一小・那加三小が一緒になって那加中学校区となり、コミュニティ・スクールを設置していきたいと思っっています。今年度は、試行的ですが、川島中学校区と稲

羽中学校区で取り組みを行っています。

中学校区でのコミュニティ・スクールは、小中学校 9 年間を見通し、地域の皆さんが一体となり子どもたちを見守り、育てていくことをねらいとしています。

コミュニティ・スクールについては、保護者あるいは地域の方々が、学校の教職員とともに学校経営に参画し、地域の特性や課題を共有し、学校の教育活動に地域のニーズを反映させることが可能になり、地域ならではの創意工夫を生かした学校づくりができていくと思っています。

現在も、学校支援ボランティア、小学校放課後学習室の講師、中学校放課後学習室の講師、通学路見まもり隊、ふれコミ隊など、多くの地域の皆さんが、小中学校 9 年間を通じて学校生活を支えていただいております。こういった方々に、さらに今後もボランティア等々で参画いただけるような、そういった活動を地域に広げていくような計画をしていきたいと考えています。こういった取り組みを行っていくことにより、まさに中学校区単位をベースとして、そこからコミュニティが生まれ、その地域の活性化に繋げていくことを行っていきたいと思っております。

〈本町自治会長〉

コミュニティスクールは、学校の評議委員会とは違いますか。

〈市長〉

評議委員会にも入っていただくような形になると思います。

〈本町自治会長〉

評議委員会も幅広く連合会長だけでなく、保護者や社協も入っていますが、同じような感じとは違いますか。

〈市長〉

単独単独の活動もありながら、そこにもっと多くの方に携わっていただくということで、コミュニティ・スクールを那加一小と那加三小もしっかりと連携した形で、那加中学校をベースにやってみましょうと、そういったコミュニティをつくっていきましょうという考えであります。

テーマ②：新境川護岸の雑草と市民清掃

〈本町自治会長〉

いつも新境川のことばかりで申し訳ないですが、暇をつくっては市民公園あるいは学びの森、新境川沿いを散歩しています。新境川を通るといつも気になるのですが、橋脚にゴミがいっぱい引っかかっているんですね。それと、川面に近いコンクリート部分ですが、あそこに増水した後に土が残って、土の中から雑草が生えて、もさもさになっていると、そういう状態で非常にみにくいというか、ここは今桜まつりが行われますし、各イベント等も行われるような場所ですので、何とかもう少し綺麗にしてもらえないかと思いますが、市のお考えをよろしくお願いします。

〈市長〉

新境川の清掃については、従前、市民清掃の方で地域の方々にご協力いただいていた、そういったところでもあろうかと思っております。

今、綺麗にしていったらどうかということでありまして、本当にこの市民清掃については、夏と秋に 2 度、これは市制施行 10 年を記念して制定された市民憲章の中から、その後に自治会連合会が主催で行っていただくようになってまいりまして、今でも継続していただいていることで、本当に心からありがたく思っている状況であります。

実際に市民清掃を行った主な2つの目的と言うものが、これは色々な意味合いがあろうかと思いますが、人口が急激に増えてきたと言う状況からコミュニケーションが少し希薄になるのではないかということで、この活動を通じて、また一つになろうといった思惑と、そしてもう一つには、自分たちのまちは自分たちで綺麗にしようという思いがあったというふうにお聞きしているところであります。

市民清掃でやっていただいたところでありましたけれども、やはり、高齢化であったりとか、少し法面が川沿いからきつくなってきた。また、危険度が増してきたということで、ご指摘の堤防内の遊歩道の下段部分の除草作業は、一昨年度までは、年1回の清掃でありましたが、昨年度から市民清掃後の年2回に増やさせていただいております。

これは、コンクリート部分のみならず、自治会でやっていただいている部分もありますが、危険だと思われる部分については、しっかりと市で対応させていただきたいと思います。ただ、境川・新境川もそうなんですが、河川管理者が県でありますので、県の方にも要望をさせていただくのと同時に、市でやれる部分については、やっていかなければならないと思っています。自治会で自主的な活動として行っていただいている市民清掃で、ご指摘のように怪我等をする可能性も多ことから、行政として責任を持って綺麗な環境をつくっていきたいと思います。

〈本町自治会長〉

今、市民清掃を市からやらされているような感覚で皆さんやってみえますね。そこら辺を少し筋取り違えてみえる方が結構多いんですよ。

〈市長〉

多分スタートした時点は自治会連合会ということで、自治会がやっているという認識があったと思いますが、時代が経過するにつれて、やはり市外から来られた方もご参加されるといったときに、これは自治会・自治会連合会が主催ですよということを、毎回言う話ではありませんし、仮に回覧板が回って来た時も、差出人が何処かというよりも市民清掃という言葉に目が行き、また市からの依頼かと感じて取られてしまいます。

しかし、平成25年度の自治会連合会で改めて、そういった認識を持っていただいております。これは自治会連合会が主催ですので、やはり危険箇所が増えてきたということであれば、自治会で場所の変更をしていただいても結構だと考えています。変えたところは市が責任を持って対応しており、それ以降、場所を変えられたところもあります。しかし、自治会が主催でこういったことを行うというのは、やはり先人の方々がどういった思いを持ってやってきたという意味合いを考えますと非常に重要なものではないかと、こちらに引越されて来て、日が浅い人であっても、この地域をこれからもこよなく愛していただくということからすると、近隣の方々のコミュニティを作ることは、非常に重要だと思うので、これからも継続していただければと思っています。

〈本町自治会長〉

これから高齢化になっていくので、一寸先はどうなるか分かりませんが、とりあえずは、やっていけたらいいかなと思っています。

テーマ③：福祉センターでの飲食の許可

〈東亜町自治会長〉

東亜町は鉄道官舎があった時代には、集会施設を持っていましたが、それが売却され、新しい住宅が建ち、それ以降は、東亜町としての集まる場所がなくなりました。

近年、非常に高齢化が進みまして、足の悪い方や動きにくい方が結構みえます。特に東亜町は、昔からのかたまりの地域で、平均年齢が62歳と高齢化になっています。やはり出られるのが大変だということで、最近は近隣ケアを通じ、色々な活動を盛り上げて、少しでも外に出る機会を作ろうということで、そういったことを設けようという形で、場所が無いかということです。

ただ単に、福祉センターに集まってお茶でも飲んで帰る、それも一つの案ですけれども、やはりもう少し、何か引き付けるようなことをやってみたいということで、食事会等を定期的に計画してやりたいといった時に、こちらの福祉センターは、飲み物は大丈夫だと思いますが、食事とか物を食べるということが可能かどうか分からなかったのも、そういったことに使えるようにしていただきたいという提言であります。

〈市長〉

市内には、多くの公共施設があります。福祉センター等々、公共施設については多くの自治会の方々に活用いただくと同時にサークル活動やクラブ活動、そして趣味で色々な活動をされている方々のご利用といったことで、非常に重要な施設であると思っています。

自治会がご活用になられる場合、やはり自治会と市というのは、良きパートナーシップをもって、共にまちづくりのために活動していくというのが、一つの要因としてあるということでありますので、まさに、地域力の向上という観点から今後も自治会の果たす役割というものは、益々、増してくる状況ではないかと思っています。

先程、会長がお話しされたように、まさに高齢者の方々に一歩でも外に出ていただきたいと、そういった願い、或いは、子ども会活動について、子どもたちに積極的、そして元気よく遊び回っていただけるような環境というものも作っていきたいと考えております。

そのような活動を促進していくには、やはり地域の方々に集っていただくということから、こういう施設というのは、非常に重要だと思っています。

福祉センターで飲食ができないかということでもありますけれども、例えば福祉センターの許可ですが自治会のミーティングや総会であったりとか、子ども会のイベント、サークル活動等々において、飲み物やお菓子の配付、そして会食など、主な利用目的に付随する場合は利用される部屋であれば飲食を伴うことも可能であります。ただし、ほんとに小さなお子さんから高齢の方々までが集まる施設ですので風紀を乱すようなことになりましますとお断りをさせていただくこともあろうかと思えます。

施設をご利用になれるときには、こういった形で使用したいんだけどということをお聞きいただければ、その都度対応をさせていただきます。

テーマ④：市民公園の外周と公園内遊歩道の安全性

〈三井北町第2自治会長〉

市民公園を造営されるときに計画のテーマがあったと思います。

各務原の歴史と未来の施策、自然の保存と創造、新しいまちづくりへの寄与、幅広い利用ができ親しまれ訪れる人に深い印象を与える都市公園というようなテーマがありましたが、その中の幅広く利用でき親しまれるということで提言をさせていただきます。

私が考えたのが、朝から夜まで市民が集えるエリアとするためのもので、市民公園の北側にある学びの森もひっくるめた形の話になると思います。

市民公園にはウォーキング健康づくりという目的で、健康リゾートふれあい街道と名づけられた循環遠路と公園外周回道路があると思います。

実際に日中はシニア層が中心になり、後は子育て中の子連れのママさんの方々がご利用されています。シニア層は、主にやるのが外周のウォーキングやジョギングを結構な人がしてみえます。

夜になり増えてくる利用者が、男女問わず若い方や家事を終えた主婦の方々がウォーキングやジョギングに出て来てみます。概ね、ウォーキングに関しては照度は十分に得られていると思いますが、一部の場所を特定しますと、ジョギングの目線からいくと照度が落ちていて、下がタイル張りになっており、当初は平らであったタイルが、経年劣化から凸凹してきています。

ジョギングの目線は必然的に下に向かいます。下に向かって照度が足りない、スピードが出るほど同じ明るさでも歩く人とは見える範囲が変わってくる。ジョガーは下を見て走り、前にウォーカーがいる。反対回りから来るジョガーもいる。このようなことで、若干の危険が潜んでいるような状況であります。特に1年ほど前のポケモンGOの時は、視線が下に向かった人ばかりで、ジョガーに対しては、走り辛い状況が続きました。

そして、一部極端に狭くなっている部分が外周道路のネックになっています。ここに先程申し上げた主婦層が連れ立ってウォーキングをしているとすれ違いができない状況です。そして、照明が植え込みの所にあるため、もっと照度があればいいと思います。

あと中の芝生広場には、夜間照明がありません。夜間に、そこでサッカーボールを蹴ると何処へいったか分からないような状況となっています。そして、内周の照明灯が14個、均等に建っていますが、南の方の木が茂っているところは照度が足りません。

公園内は概ねバリアフリーになっていますが、南東にある緑の街角のクニハガーデンのところにモニュメントがありますが、そこが階段下りになっており、入りづらい状況になっています。

夜も集まれる形のものを安心してできるように整えれば、幅広く利用でき親しまれるというテーマに沿った公園になると思います。

私が望むのは、皇居の外周は約5キロで、それに比べ市民公園は一周約1キロ、5分の1と規模は違いますが、唯一の強みは、中に全面的に入れる市民公園はウォーキングやジョギングに非常に魅力的な場所であり、もっと集まりやすい、歩きやすい、走りやすい、遊びやすいという公園にしていきたいと思います。

〈市長〉

市民公園は、本当に多くのお子様連れのご家族の方、桜まつりのときには、市外の方にも多くお越しいただいておりまして、にぎわいのある場所となっております。

ご存知のとおり、この公園は、岐阜大学の農工学部那加校舎の跡地を利用して今の状況がありまして、それまであった既存樹木も大切にしながら保存、活用をしていくことで、今の形になっている状況であります。

会長さんがお話しされたように、現在、健康志向が非常に高まってきており、ウォーキングをされる方、あるいは、ジョギングされる方、その他にも色々な利活用していただきながら、そういった健康にも気遣いながらのご利用をいただいております。

外周については、約1キロで、走る方や歩く方にとっても計りやすいということから、利用も

多いのではないかと考えています。

市としても、特に市民公園のような、様々な目的で多くの方々にご利用いただける公園については、ニーズの変化に対応しながら、更に安全で安心して使っていただけることを力を入れていきたいと考えております。

今回のご提言をいただきまして、改めて市民公園の夜間の利用状況を確認するとともに、特にご提言の区間等々については、重点的に実態調査をさせていただきました。

公園の中でも、部分的に公園照明が照度が乏しい箇所、或いは一部外周歩道の幅員が狭く、ランニングでの追い越しがしにくい区間があることを再確認させていただいたところでもあります。

調査をさせていただいたときに、足元を照らす照明灯が点灯していない所もありましたので、速やかに復旧をさせていただきました。照度についても、公園の照明灯に覆いかぶさる枝というものを定期的に剪定させていただいて、照度の確保に努めていきたいと考えております。

そして、少し幅が狭くなっているところですが、ここには、既存の桜の木を保全しながら保存したために、歩道の幅員が狭くなっているという経緯があります。

皆さんもご承知のとおり、各務原市というと桜名勝百選といった箇所にも指定されている状況から桜の木は非常に大切な財産であろうと考えています。この歩道を 1.8m 拡幅するためには、6本の桜の木を伐採しなければ拡幅ができない状況にありますので、今のところ改修すべきではないと考えています。

桜保全ボランティアの方々にも頑張ってもらっていておりまして、桜の木も生き生きと毎年花が咲いていますが、桜の木も樹齢が現在 50 年位となっていますので、今後、これらの木が枯れるなどした時に、そういった計画を検討していきたいと思っております。

今のところは照度の確保と中の木の剪定については、グリーンパークの方々にも年 2 回剪定していただいておりますので、そういった方々のご協力もいただきながら、適切な管理に努めていきたいと思っております。

## ○その他の主な発言

〈前洞新町第 5 自治会長〉

岐阜鵜沼線が江南関線からイオンタウンの所まで供用開始されています。そこから西の日野岩地大野線ができなければ、そちらの方に繋ぐことができないと言うことで、施工が非常に難しいと聞いていますが、新境川で桜丘中学校の西からおがせ街道までの途中に小さな橋があります。

イオンタウンのところ非常に混み、小さな橋のところ通り抜けということで、朝夕渋滞するとか、土曜日・日曜日の渋滞のときに、前洞新町 4 丁目・5 丁目の方へ、生活道路でありながら、さも幹線道路みたいに走ってこられるということで、子ども会からも非常に危ないということで「止まれ」の標識を付けてもらっていますが、この前も事故があったと聞いています。そのようなことで、新境川の橋をぜひ造っていただけるようお願いいたします。

那加中学校からの南北道路のところまで橋を造って拡幅していただければ結構緩和され、朝夕などの渋滞も解消されるのではと思います。那加一小校区の方からも、渋滞があるから、ぜひやってほしいというふうに聞いていますので、その辺りの市の考えをお聞きしたいと思っております。

〈市長〉

岐阜鵜沼線については、イオンタウンの北側の道で、江南関線からイオンタウンの西角の信号

まで拡幅がされています。県道になっていますが、一部この江南関線からイオンタウンまでの沿線の中には、市の方で整備させていただいた区間もあります。一番東の方を市で行わさせていただき、途中から県の方をお願いしております。

本来は、岐阜県でやっていただく事業ですので、毎年、こちらについては、先程おしゃっていただいたように渋滞緩和であったり、子どもたちの安全安心の確保にも繋がるという重要な路線でありますし、もう一つには、岐阜市に繋がる総合医療センターがありまして、そちらに行くためには非常に有効でありますので、市としても要望をさせていただいております。

ただ、ここで一つ着目していただきたいのが、どこに着地点を置くのかということところが一つ課題になってまいりまして、まずは、この日野岩地大野線、イオン各務原の西側の道路を北に手力雄神社の方に向かっていく道、踏切りの拡幅工事などを行わさせていただく路線ですが、これをどんどんと北に延ばしていきます。

こちらと、ここがぶつかる、この地点をどこにするのかということ一つを目指しながら、実際に、各務原市と岐阜県とで一緒になって岐阜鵜沼線勉強会というものを立ち上げ、そして岐阜市側は岐阜市側で要望書を出していただいております。そして、各務原市側は各務原市側で要望書を出させていただいておりますので、交通事故の渋滞の状況、あるいは新境川への架橋など、整備する上での様々な課題について、今、議論をさせていただいているところであります。

まだまだ、少し先にはなろうかと思えますけど、やはり新境川に橋をかけて、それが西の方に向かって行き拡幅することによって、少し前に整備させていただきましたが、スシローの交差点でも、右折車線帯ができただけで非常に交通渋滞がスムーズになった、あるいは子どもたちも安心して道路が渡れるようになったという状況もありますので、こういった道路の重要性というのは、私どもも十分認識をしていますので、これからも勉強会や県に対する要望を岐阜市と一緒にやっていきたいと思えます。

○連合会長からまとめのことば

○市長からまとめのことば